

大津市立比良保育園

日時：2021年12月9日（木）13:30-17:15

2021年12月15日（水）9:00-16:30

場所：滋賀県大津市南比良 585-1

大津市立比良保育園は、田畑に囲まれた集落の中にあります。今回は、保育園から少し離れた所にある「樹下神社」で研修をおこないました。大きなスギやヒノキの木が立っていて、森のようになっています。落ち葉や枝が地面を覆っていて、歩くとやわらかさを感じました。

そんな環境を活かしたプログラムが実践され、木や葉っぱ、枝、木の皮、土に触れながら、たくさんの学びや発見のできる一日となりました。

講座、プログラムづくり、作成したプログラムの実践とふりかえりをおこないました。

講座の一部を紹介します。

講師 島川武治（しまっち）さん

木の太さをはかってみよう！

神社にある大きな木。幹の太さはどれくらいなのか、腕をめいっぱい伸ばして測りました。「3人ならなんとかいけそう…！」全員の手が繋がった時、自然と拍手がわきました。

もう一本、幹が太そうな木を探して比べてみます。今度は楽々と手を繋ぐことができました。メジャーが無くて、みんなで力を合わせれば太さを測ることができ、その木の大きさもより実感できます。



「もうちょっとで手が届きそう〜!!!」

横に広がってみると、幹の太さがどれだけあるのかよくわかります。



スギの木ってこんなの？

はじめに参道から森の中へ散策して、歩く感触や音、明るさ、においなどの違いを感じます。次に森の中でチクチクするものを探して見せ合い、その中からスギの葉っぱをピックアップします。そして2グループに分かれ、スギの葉っぱを集めて参道に並べて、どちらが長くつなげられるか競い合います。次はスギの皮を同じように集めて並べ、長さを競い合います。その後、スギの葉っぱと皮をこすることで匂いがすることを子どもたちに伝えます。集めたスギの葉っぱや皮を森に返し、最後にスギの木の下で、集めた葉や皮が木とつながっていること、スギが割り箸という形で使われていることを伝えます。



チクチクのものを探し中…。



力を合わせて集めて、並べていきます。



遊び終わったら元の場所へ。一緒に遊んでくれてありがとう！

虫さんどーこだ！

葉っぱの下や土の中に虫がいることを伝え、「どんな虫がいる？」と歌い写真を見せながら、あたたかい場所で冬を越す虫たち（ダンゴムシ、ミミズ、カブトムシの幼虫など）を紹介します。その後2グループに分かれて、列車の形に並んで森の中を探検します。穴があるところや木の間などいろいろな場所へ行き、虫や植物を探します。

その後全員で集まり、虫や生き物の気持ちになってグループみんなでかくれんぼをしようと呼びかけます。2グループずつ隠れる役と見つける役をおこなった後楽しかった想いを共有し、虫や生き物たちが冬の間過ごす場所や春になって暖かくなったら出てくることを伝えます。



列車の形になって森の中を探検。
「木に穴がある！リスの家かな？」
「これゴリラの木だ！動物園で見
たことある！」



「どんなむし〜がいるっ？」
「ダンゴムシ〜がいるっ！」
みんなで一緒に楽しく歌っ
ています。



「ここなら見つからないかな
…？」
虫や生き物と同じように、仲良く
一緒に隠れます。

プログラムを終えてのふりかえり

- 自然の中でこんなに考えて遊んだことが無かったので新鮮だった。
どんなことができるか考えたい。
- 自然の中で遊ぶだけじゃなく、生活に繋げることを考えたことがなかったので新鮮だった。
- 自然っていいなと改めて思った、自然に絡めて遊びを広めていくことが新鮮だった。
- どのように伝えればいいのか考えることができて良かった。
- 自園の保育士さんに来てもらえなくて残念、研修に来てもらえるよう声かけしたい。
- 実際に保育者が遊ぶことで、子どもたちにどう伝えるか考えられて、下見の大切さを感じた。
- 自分が遊ぶことで自然の中で遊ぶ楽しさを感じられた。
- 自然のどこを感じてもらいたいのか、何を伝えたいかを考え、子どもたちと共有できたのがうれしかった。